

広報

とちぎ

2016 **9**
NO.77

発行/栃木市
〒328-8686 栃木県栃木市万町9-25
編集/総合政策部シティプロモーション課
☎0282-21-2316
<http://www.city.tochigi.lg.jp>



今月の1枚 小型ポンプ操法を行う消防団員

(西方方面隊操法大会にて 7月24日撮影)

～地域の防災力を高める～ 9月1日は「防災の日」

地域の防災力の向上のために

自主防災組織設立を支援します!

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域の方々が自発的に、初期消火、救出・救護、集団避難、給水・給食などの防災活動を行う団体のことをいいます。市では、地域住民による自治会等を単位とした自主防災設立補助金を、1団体20万円を限度として補助しています。詳細は☎危機管理課 ☎(21)2551に問い合わせ下さい。

今回の特集では、9月1日の「防災の日」にちなみ、地域や個人での災害に対する備えについてお届けします。ぜひこの機会に、今後もしつ発生するかわからない災害に備え、ご家族や地域の皆さんで防災について話し合ってみましょう。

〈2頁に続く〉

平成27年9月の関東・東北豪雨は、関東から東北の広い範囲にわたって甚大な被害をもたらしました。本市においても、河川の氾濫などに伴う広範囲な浸水被害や、山間部における土砂崩れなど、市内各地で大きな被害が発生したほか、「災害への備え」という点で多くの課題が明らかになりました。中でも今、「地域の防災力の向上」が全国的な課題となっています。

関東・東北豪雨や4月に発生した熊本地震のような非常に広範囲にわたる災害においては、地域における防災・災害対応が非常に重要で効果的となります。熊本地震の発生時には、地元の消防団が、救助活動や地域のパトロールを行ったそうです。本市においても豪雨災害の際には、各地域の消防団が、避難誘導や土の積みによる浸水や越水の防止、またその後の復旧活動など、非常に大きな役割を担いました。また、消防団だけでなく、日頃から自治会などの地域や個人での備えも大切です。

今回の特集では、9月1日の「防災の日」にちなみ、地域や個人での災害に対する備えについてお届けします。ぜひこの機会に、今後もしつ発生するかわからない災害に備え、ご家族や地域の皆さんで防災について話し合ってみましょう。

目次

特集① 9月1日は「防災の日」	2
特集② ～誰もが暮らしやすい社会に～「障害者差別解消法」ってなあに?	3
インフォメーション	
(今月の注目情報)	4
(各課からのお知らせ)	7
(募集)	9
(催し・講座)	10
(スポーツ)	11
みんなの伝言板	11
文化芸術のお知らせ	12
子育て広場	13
健康情報コーナー	14
新連載 渡良瀬遊水地のなかまたち	15
わが家の天使/お知らせ	15
まちかどニュース	16



栃木市マスコットキャラクター とち介

栃木市の人口

人口	163,177人	(62)
男	81,088人	(77)
女	82,089人	(-15)
世帯数	63,757世帯	(107)

※住民基本台帳より
6月末現在()内は前月比

市章



栃木市の「と」の文字をモチーフとして、緑色の4本のラインは自然、歴史、地域、人を表し、青色はそれぞれの流れが一つとなった大河の流れを、その先にあるオレンジ色の円は輝かしい未来と人々の情熱を表しています。